



チャレンジ

神石小学校3年生
学級通信 No. 3



神石の特産品 ～続：ナマズ大調査 神石ナマズを伝えよう～

「神石ナマズ」ってご存じですか？

油木高校の生徒達が、地域活性化のための取組の一つとして行っている「ナマズプロジェクト」です。過疎化・高齢化が進んでいて、地域の農地面積の30%にもなる耕作放棄地を有効活用するという、これからの地域の未来を支えるかもしれないプロジェクトとして始まったこの「神石ナマズ」の養殖です。ナマズは世界でもよく食べられていて、泥水に強いので農地だった場所をプールにして、6月頃から育て始めて、翌年の冬に大きくなったものを漁獲するのだそうです。ナマズは、刺身・かば焼き、天ぷらにもできる優れものだそうです。

子供達は、この「神石ナマズ」をもっと多くの人に知ってもらいたいと、今年の総合のテーマにしました。神石高原町で養殖されているナマズについて調べ、ナマズを神石の特産品にしようと考えた地域の人々の思いを知り、ナマズの養殖が始まった理由や背景、ナマズの養殖に携わっている方々の工夫や思いなどを調べていきたいと考えています。

先日、成羽川に生息しているナマズをいただきました。子供達に見せてやりたいと思い、学校に持ってきました。子供達は大喜びで、ナマズを触ったり観察したりしていました。子供達は、「ナマズを飼育したい。」と言っていたのですが、体長60cmのナマズを入れる水槽もなく、また、卵を持っているようだったので、元の場所に逃がすことにしました。

